「こころの貧しいもの」
～探し求める者だけが見出す恵～ ルカ 12:22～34 マタイ 5:3

簡単なことを信じることができない私たち

皆さんは壊血病という病気を知っていますか？これは、ヒポクラテスの時代からありました。歯茎から血が出、体に斑点ができ、最後には黄だん状態になって死んでしまうという原因不明とされていた病気です。今では、その原因はビタミン C 不足ということがわかっています。17 世紀頃、ある科学者がこの病気はオレンジジュースを飲めば治ると発表しましたが、その解決法があまりにも簡単だったため、だれも信じませんでした。20 世紀を超えてようやくビタミン C 不足が原因と認められました。300 年近く、オレンジジュースを飲めば治ると信じなかったためにどれだけの命が落とされたでしょう。答えは目の前にあったのに、信じなかったから多くの人が命を落としたのです。

分かっているのにしないのは？

『心の貧しい者は幸いです。天の御国はその人たちのものだから。』（マタイ 5:3）聖書は、心の貧しい者は幸いであると言っています。求め続ければだれであれ受け、探す者は見つけ出し、たたき続ける者は開かれると書いてあります。皆さんは本当にこれを行なっていますか？わかっているのにしないのは、とても残念です。私たちはなぜしないのでしょう？それは、その解決方法があまりにも簡単だからです。神さまは一人一人にするべきことを教えられています。そしてそれは、そんなに難しいことではありません。ある人には心配するな、ある人には怒るな、ある人には急ぐな・・・・・と言われているだけです。どうしよう、どうしようと思い煩うのはもうやめましょう。

私たちはこういう時代だからこそ、信じて神さまに聴くのです。そうすると答えがあるのです。そこであなたは、「赦せ。」「愛せ。」「心を騒がせるな。」と言われるでしょう。「もしあなたが私に従うなら、恵みは千代まで、しかしもしそうでないなら、三代、四代までのろう。」と言われています。これは神さまが呪うのではなく、価値観の継承です。それは祝福されない結果を招いてしまいます。【予言の自己成就】 予言の自己成就ということがあります。根拠のない噂や思い込みであっても、人々がその状況が起こりそうだと考えて行動することで、事実 ではなかったはずの状況が本当に実現してしまうこと。を言います。これは自然界では起りません。人間だけが引き起こすこと（多くの場合､マイナスに働く）なのです。人間だけが、間違った情報を信じて行なうのです。あなたは、「これはやめなさい。」と言われたことをやめないで、どうでもいいことを探し求めているのです。みなさん、今日、身にしみて感じてください。やってはならないことをやらない。これで終わりです。簡単なことなのです。それさえすればうまくいくのに。私たちはやらないんです。神さまは、私たちの祈りはきいてくださいます。だから､そのために､「このことは､改めよ。」と言っています。先週、破れ口に立つというはなしをしました。破れ口を見つけたなら、そこに立つのです。そこに立つとは、あなたがそこで「してはならないことをしない」ということです。礼拝のメッセージを信じて行なえば、うまくいくのです。神さまが教えてくれたことは、素晴らしいのです。人間は愚かです。ずっと同じことを繰り返してしまいます。だから、私たちはここでやめなければなりません。権利を主張し、人に指さすだけになってはいないでしょうか？

ルカ 12：22－34

あなたは、今、何を思い煩っていますか？そんなことをするのは、もうやめましょう。結果を求めてもダメです。やるべきことをやりなさい。そうすれば結果は与えられます。何はともあれ、神の国を求めなさい。神の国とは､悔い改めです。言い訳するのではなく､「あのときの私は間違っていました。悔い改めますから、力を与えてください。」と祈れば良いのです。あなたが憎んでいるなら赦す、あなたの隣人が苦しんでいるなら祈る、恐れて不安になったとき「私を見ろ」と言われているなら見るだけ、これが神の国です。神の国とはイエスさまを見ることです。あなたは本当に神さまを求めているでしょうか？それとも、あなたのために神さまを求めているのでしょうか？同じようで全然違います。神さまが私たちを愛してくれて、その愛を受けたから神さまのところに行きたいのです。すると神さまはあなたを造り直して癒やし、あなたを美しくしてあなたを豊かにすると言われているだけなのです。私たちはこのようなことは求めていないけれど、与えられるのです。
私たちは何のためにするかが大事なのです。私たちの心の良心のためにするのです。そうすると祝福されるのです。心とは、神さまが私たちを愛してやまないという心です。だから私たちは神さま前に出て行きましょう。心配なら心配することをやめなければいけません。心の問題です。あなたの宝があるところにあなたの心があるのです。

セレンディピティーは探し求める人に与えられる ~信じ探し求める~

セレンディピティーとは、何かを探しているときに、探しているものとは別の価値があるものを偶然見つけること。しかし、聖書の約束は偶然ではありません。必然で変わることはないのです。私たちがすべきことは「信じ、求める」です。何かを探しているときに、探しているものとは別の価値があるものを偶然見つけること。神様がせよということを忠実に行う中で見つけることができます。『何はともあれ、あなたがたは、神の国を求めなさい。そうすれば、これらの物は、それに加えて 与えられます。』（ルカ 12:31）ルカ 12:34『あなたがたの宝のあるところに、あなたがたの心もあるからです。』（ルカ 12:34）『バプテスマのヨハネの日以来今日まで、天の御国は激しく攻められています。そして、激しく 攻める者たちがそれを奪い取っています。』（マタ 11:12）セレンディピティーは探し求める者に与えられます。

さいごに…

聖書は約束、結論 です。答えがわかっているのに、やらない人にならないでください。あなたには神から真珠（価値のあるもの）、大いなる役割・責任を与えられています。自分には価値が あると信じすべきことをし、してはならないことをしない。これらを信じて行う中で必ず結果（約束）としてセレンディピティーが与えられます。あなたは本当に自分の価値を受け取っていますか？ 祝福の結論がわかっているのに、自論と天秤にかけるのをやめましょう。 あなたは今、何のためにここに存在していますか？あなたの権利を神に訴えるためですか？それともあなたに任された大いなる義務を果たすためでしょうか？心配してはならない、恐れてはならない、怒ってはならない、赦さねばならない、欲に逃げてはならない、富に目を向けてはならない、結果に目を向けてはならない、急いではならない、騒いではならない、心を煩わせてはならない、あせるな。神さまは一人一人に語られています。最大の神の国とは、赦しです。「大丈夫だから信じて赦しなさい。信じない者にならないで、信じる者になりなさい。例え全世界があなたを裏切っても私はあなたを捨てない。」と神さまは言われています。それが十字架です。私たちは、信じ行なうことができるのです。偽りの情報を捨て、神様の約束、神様のことばを信じ行う！ことを決断しましょう。
『幸いであれ。心の貧しい人は。』（Blessed are the poor in spirit: for theirs is the kingdom of heaven.）（マタイ 5:3）KJV

（要約者：秋山 恭子）

（2022年 6月19日）